



ACI 向け Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェア バージョン 1.2(8) リリースノート

このドキュメントには、ACI 向け Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェア バージョン 1.2(8) のリリースに関する情報が含まれています。

使用可能な APIC 製品

リリース 1.2(7.8)以降、ACI の Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェアには 2 つのバージョンがあります。

- ACI 向け Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェア:バージョン 1.2(6) 以前で使用可能だった元のバージョンと同じです。このバージョンでは、APIC から ASA の多くの重要な機能を設定できます。これには、次のような機能が含まれますが、これらに限定されません。
 - インターフェイス
 - Routing
 - Access-list(アクセス リスト)
 - NAT
 - TrustSec
 - アプリケーション インスペクション
 - NetFlow
 - ハイ アベイラビリティ
- ACI 向け Cisco ASA デバイス パッケージ ファブリック挿入ソフトウェア:このバージョンには、元のバージョンの機能の次のサブセットが含まれています。
 - インターフェイス
 - ダイナミック ルーティング
 - スタティック ルーティング

サポートされるバージョン

Cisco ASA デバイス パッケージ のソフトウェアは、同梱された APIC MP バージョンだけをサポートしています。

Cisco ASA デバイス パッケージ 1.2.8.9 は、APIC 2.2(2e) および 2.3(1e) で認定済みです。

次の表は、サポートされるプラットフォームのそれぞれに対してサポートされている Cisco ASA ソフトウェアのバージョンを示しています。

プラットフォーム	ソフトウェア バージョン
ASA 5500-X(5512 ~ 5555)	ASA 8.4(x) 以降
ASA 5585-X(SSP 10 ~ SSP 60)	
Cisco Firepower 9300 セキュリティ アプライアンス	ASA 9.6(1) 以降
Cisco Firepower 41xx セキュリティ アプライアンス	
Cisco ASAv	Cisco ASA 互換性マトリックス の「ASA と ASDM の互換性」セクションを参照してください。

特記事項

- ASAv はマルチコンテキストモードをサポートしません。
- ダイナミック EPG を使用した ACE には、ASA イメージ 9.3.2 以降が必要です。

ASA 9.3(1) を使用した APIC 1.2(x) の実行

デフォルトの SSL 設定がある ASA 9.3(1) を使用した APIC 1.2(x) を実行している場合は、次のエラーが表示されます。

重大なスクリプトエラー:接続エラー:[SSL:SSLV3_ALERT_HANDSHAKE_FAILURE] ss1v3 アラートハンドシェイク失敗 (_ssl.c:581)

回避策は、ASA で **ssl encryption aes128-sha1** を設定するか、ASA をバージョン 9.3(2) 以降にアップグレードすることです。

サービスアプライアンスの BGP ピアリングの設定が不完全な場合にポリシーマネージャがロックアップする

不具合 CSCuw0342 には次の回避策を使用します。

症状 サービスアプライアンスの BGP ピアリングに使用される l3Out の設定が不完全な場合、ポリシーマネージャがクラッシュする(CSCuw03425)。

条件 サービスアプライアンスの BGP ピアリングに使用される l3Out に l3extRsNodeL3OutAtt がありません。

回避策 l3Out に l3extRsNodeL3OutAtt が含まれていることを確認します。この問題は今後のリリースで修正されます。

次に、l3extRsNodeL3OutAtt を含む BGP XML の例を示します。

```
<polUni>
  <fvTenant name="tenant1">
    <l3extOut name="StaticExternal">
      <l3extLNodeP name="bLeaf-101">
        <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="190.0.0.11">
          <ipRouteP ip="50.50.50.0/24">
            <ipNexthopP nhAddr="40.40.40.102/32"/>
          </ipRouteP>
        </l3extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extLIfP name="portIf">
          <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/15]" ifInstT="ext-svi" encap="vlan-3843" addr="40.40.40.100/28" mtu="1500"/>
        </l3extLIfP>
      </l3extLNodeP>
      <l3extInstP name="ExtInstP">
        <l3extSubnet ip="50.50.50.0/24" scope="export-rtctrl"/>
      </l3extInstP>
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="tenant1ctx1"/>
    </l3extOut>
  </fvTenant>
</polUni>
```

APICへの登録後に ASA のバージョンを変更した場合に APIC を手動で再同期する

不具合 CSCva89163 には次の回避策を使用します。

症状 一部のコマンドは機能しません。たとえば、**network** コマンドと **neighbor** コマンドの情報が表示されません (CSCva89163)。

条件 APIC に登録されているバージョンとは異なるバージョンの ASA を使用している場合、APIC に自動的には再登録されません。そのため、古いバージョンの ASA を使用している場合は、一部のコマンドがサポートされない場合があります。

回避策 次の手順を実行して、手動で APIC と ASA を再同期します。

-
- ステップ 1** APIC GUI の [テナント (Tenants)] タブで、左側のペインの [L4-L7サービス (L4-L7 Services)] を展開します。
 - ステップ 2** L4-L7 デバイスを展開します。
 - ステップ 3** APIC を実行しているファイアウォールを展開します。
 - ステップ 4** APIC を実行しているデバイスを右クリックし、[デバイス検証の再クエリ (Re-Query for Device Validation)] を選択します。
-

具象インターフェイスの変更時に ASA の設定がロールバックされない

不具合 CSCvd65130 には次の回避策を使用します。

症状 ブリッジモードで展開されたグラフの lif 設定でクラスターインターフェイスが変更されると、新しいインターフェイスが ASA で正しく更新されない場合がある。

条件 ASA デバイスのクラスタインターフェイス設定に変更が加えられた場合。

回避策 デバイスに変更を加える前にコントラクトからグラフをデタッチし、その後にアタッチします。

ブリッジモードで2番目のグラフがASAに誤った設定をプッシュする

不具合 CSCvd68860 には次の回避策を使用します。

症状 ブリッジモードで2番目以降のグラフが ASA の新しいクラスタインターフェイスのセットに展開されると、クラスタインターフェイスが正しいブリッジグループで設定されていないことが表示される場合がある。これにより、設定の問題が発生し、ASA のデフォルト名を使用している既存のクラスタインターフェイスとの競合が発生する。

条件 ブリッジモードの ASA のデフォルトインターフェイス名を持つ新しいクラスタインターフェイスのセットを使用したグラフ展開。

回避策 グラフの設定中に、グラフパラメータの [インターフェイス関連の設定(Interface Related Configuration)] でクラスターインターフェイス名を変更します。

ソフトウェアのダウンロード

Cisco.com のログイン情報を使用して、次の場所から Cisco ASA デバイスパッケージのソフトウェアイメージを取得します。

<https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=283123066&flowid=22661&softwareid=286279676>

ソフトウェアのインストール

APIC リリースに CSCuv4353 の修正が含まれている場合は、古いバージョンから新しいバージョンにアップグレードするために、以前のソフトウェアパッケージを削除する必要はありません。それ以外の場合は、新しいバージョンをインストールする前に、APIC から古いバージョンを削除します。

Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェアのインストール方法については、『*Cisco ASA Quick Start Guide for APIC Integration, Version 1.2.x*』を参照してください。

バグ検索

Cisco.com に登録している場合は、バグ検索ツールを使用して各不具合の詳細を確認してください。

<https://tools.cisco.com/bugsearch>

Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(8.9) で解決された拡張要求

次の表に、Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(8.9) で解決された拡張要求を示します。

要求/不具合	説明
CSCvb24699	ASA DP:AAA カットスループロキシ認証のサポート
CSCvc20334	ASA DevPak:ICMP 許可設定のサポート

Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(8.9) で解決された不具合

次の表に、Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(8.9) で解決された不具合を示します。

不具合	説明
CSCvb67004	ASA デバイスは auditfailed 状態ですが、障害はなく、正常性は 100% です
CSCvb77538	ASA デバイスで NAT 送信元ダイナミックが設定されていません
CSCvb88784	NAT 送信元静的コマンドは ASA デバイスに存在しません
CSCvb95956	nat source static any any コマンドが ASA デバイスに存在します
CSCvc91248	ASA デバイスは modifyfailed 状態で、障害が発生しています
CSCvd66331	ASA DP は ASA 9.7.1 でロギングホストコマンドを削除できません

Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(8.9) の未解決の不具合

次の表に、Cisco ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(8.9) の未解決の不具合(シビラティ 1 ~ 3)を示します。

不具合	説明
CSCvd68007	TFW モードでは NAT コマンドを削除できません
CSCvd72334	APIC 2.2(1n) では、IPv4 と IPv6 の OSPF 設定を同時に送信すると OSPF が失敗します
CSCvd72493	APIC 2.2(1n) では、OSPF 設定を ASA に送信できません
CSCvd92354	APIC で BGP テストケースが失敗しました。serviceModify が呼び出されていません

関連資料

Cisco ASA の詳細については、『[Navigating the Cisco ASA Series Documentation](#)』を参照してください。

Cisco APIC の詳細については、[APIC のドキュメントとシスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャのセキュリティソリューション](#)を参照してください。

その他の情報

資料の入手方法、Cisco バグ検索ツール(BST)の使用法、サービスリクエストの送信、および追加情報の収集方法については、『*What's New in Cisco Product Documentation*』(<http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>)を参照してください。

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

このマニュアルは、「[関連資料](#)」の項に記載されているマニュアルと併せてご利用ください。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認いただけます。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一一致によるものです。

© 2017 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.

■ その他の情報